

「精神保健医療従事者による、新型コロナウイルス感染症や自然災害等に起因した心のケアに対する心理的アセスメント及び応急処置介入方法の適切な提供体制の構築と、それに伴うメンタルヘルスの維持向上に資する研究」

新型コロナウイルス感染症や自然災害に対応した精神保健医療従事者のための心理的アセスメントの効果検証への助言

分担研究者 下野 信行（九州大学病院総合診療科 教授）

研究要旨

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）罹患後の後遺症は多彩で、精神的な障害にも遭遇する。抑うつ症状、不安障害、不眠症、注意力障害、記憶障害、身体表現性障害、パニック障害などが挙げられる。これらに関する国内外からの報告も多数存在し、これらに関する文献レビューを行い、後遺症支援のためのガイドライン作成に寄与する。

A. 研究目的

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の罹患者は、少なくとも約7億人に及ぶ。後遺症も多彩で、その中の精神的な障害に関しても国内外から数多くの報告がなされている。

これらの報告に関して文献レビューを行い、ガイドライン作成に向けての提言を行う。

B. 研究方法

PubMed および医中誌を使用して、キーワードを用いた検索式で抽出してレビューを行う。また、会議で以下のことについても確認した。

1) 精神症状の systematic review of review を作成する。2) 日本の研究報告（和文）を含める。3) 漢方に関する論文も含める。4) 2020年以降の文献を対象とする。

C. 研究結果

2020年以降の文献に関してレビュー進行中である。

D. 考察

海外からの報告が多いが、人種の違いなどもあり、また治療薬としての漢方薬の有用性確認なども検討予定である。

E. 結論

F. 健康危険情報

G. 研究発表

1. 論文発表

2. 学会発表

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

2 実用新案登録

3. その他